

果関係を説明した方が良いと思います。観光客の集中によって交通渋滞が発生、トイレが不足するなど背景に具体的な問題点を入れると分かりやすくなると思います。また、横断的な技術の活用についても、説明不足です。なぜ、横断的な技術の活用が求められているのか分かりません。

⑦ 観点がありません。また、緩和対策とありますが、何を緩和するのか不明です。

(3) いかに、戦略的に整備するか⑧
 全国的に地方自治体は財政難の中にある。加えて、
 少子高齢化による高齢者の民生費等の公的負担は増加
 するこてが予測されていいる。⑨さらに、物価高騰による
 インフラ整備に扱う資材調達も厳しい状況下において
 コスト削減が求められていいる。よって、新規設計の段階
 がライフサイクルコストを考慮し、予防保全型による
 インフラ管理を推進していくことが課題である。⑩

⑧ 戦略的に整備するかについては、すべてに当てはまることであり、もう少し具体化した課題が良いと思います。

⑨ 必須課題 I の指摘同様。

⑩ 観点がありません。言いたいことがまとまっていない印象を受けます。コスト抑制なのか、財源確保なのか、LCC 設計なのか、管理手法なのか、様々なことを書きすぎて一貫性がありません。もっと、的を絞って書いた方が良いと思います。さらに、これらすべての課題が、観光まちづくりとどのような関係があるのか説明がありません。課題を列記するよりも、背景、因果関係などを丁寧な説明する方が大切です。

2. 最も重要な課題
 「いかに、持続可能な都市基盤を整備する台には、
 建設技術により他の課題⑪解決への寄与も期待すべきだ
 め、最も重要な課題に選定し、以下に解決策を示す。

⑪ 他の課題とはなんですか。

3. 解決策

(1) 移動の利便性向上・利用促進

観光客の個人旅行化、訪日旅行者^⑫の増加に対応すべく、観光地での移動利便性を向上^⑬させる。具体的には、観光型MaaSの導入による観光ニーズに合った周遊ルート^⑭の設定や、観光地の主要交通としての公共交通の利用^⑮や、二次交通のアクセス強化^⑯観光周遊の喚起策を推進する。また、観光資源を結ぶグリーンズローモビリティの導入により、幹線道路から外れた移動による渋滞回避や交通環境の円滑化を図る^⑰。

- ⑫ 技術力を示唆する観点から、「インバウンド」と表現してはいかがでしょうか。
- ⑬ 前段では、観光客の増加を問題視しているにもかかわらず、利便性を向上させるでは問題の解決になっていないと思います。課題を旅行者の増加とするのではなく、ニーズの多様化にすればよいのではないのでしょうか。
- ⑭ 「による」が連続しています。一回分を切りましょう。ここまでを一回整理すると、「個人旅行化やインバウンドなど観光ニーズが多様化する中、ニーズに合わせた利便性の向上を図るため、観光型MaaSを導入する。具体的には、観光ニーズに合った・・・」でいかがでしょうか。
- ⑮ 「観光地の主要交通としての公共交通の利用」のが多くて読みづらいです。「観光地における主な移動手段を公共交通へ転換すること」としてはどうでしょうか。
- ⑯ 「アクセス強化」→「交通結節機能の強化」
- ⑰ 交通の円滑化の視点が続いているので、グリーンな観光ヘシフト、街区内移動の安全確保、移動手段の多様性を創出など多角的な視点で論述すると評価が高いと思います。

(2) まちの機能向上と活用の維揚

接続可能を都市形成を図るために、まちに訪れた人々をソースとして、様々な関係者を繋げ、ネットワークモデルを構築する^⑱ 具体的に、空き施設や空き家を活用した多機能型拠点を形成し、地元運営組織による観光人材の育成を図る^⑲ 前述の策と併せ、地元住民によりグリーンスクーモビリティ^⑳のドライバー確保や、地域と共存した周遊ルートの設定^㉑、観光資源そのものを楽しむための観光時間帯の提案^㉒などを行い、観光客と地元住民が共存した^㉓まちづくりの推進を図る。

- ⑱ 「来訪者を資源として、利害関係者を構築する」とは、一体どのような状態をイメージされているのでしょうか。少なくとも、読み手には伝わらないと思います。
- ⑲ 詰め込みすぎです。①空き家活用、②DMO活用、③観光人材の育成と多くの施策を列記していますが、何をしたいのか分かりづらいです。⑱のとおり、何をしたいのか判然としない中ではありますが、DMOを中心に書いた方がまとまると思います。
- ⑳ 同じ施策を何回も例示として使うのは、お勧めしません。評価者にこれしか知らないのかと思われてしまいます。
- ㉑ 「地域と共存した」の部分が良く分かりません。観光によって生活環境に影響しないよう配慮された周遊ルートということですかね。
- ㉒ 「観光資源そのものを楽しむ」どういうことでしょうか。景勝地が最も綺麗に見れるベストタイミングを教えるということですかね。
- ㉓ また、「共存」というワードが出てきますが、㉑とは違った意味ですかね。同じであれば、重複しますのでどちらかは削除した方が良いと思います。
- ※ この項目は、全体的に論点がまとまっていません。用語の使い方も適切とは、言いづらく、読み手に混乱を与えます。国土交通省や観光庁のHPをよく読み、しっかり理解したうえで、取り組みをもっと良くなると思います。

(3) 魅力ある観光資源の発掘と活用
 我が国が誇るインフラ技術の世界的にも高度なもの
 がある。このストック効果²⁴を最大限発揮すべく、イン
 フラそのものを観光資源としたツーリズムを実施する。
 また、地域と連携した企画を推進し地方に潜在する地
 域固有のインフラの役割や意義を学習することで、魅
 力を創出し地方部への観光客の入込を促進していく²⁵。

②④ 国交省では、「ストック効果は、整備された社会資本が機能することで、整備直後から継続的かつ中長期にわたって得られる効果です。」とあります。インフラ技術をストック効果と呼ぶのは、違和感があります。

②⑤ 「また」以降の一文が長いです。また、タイトルには、発掘と活用とあるので、「地域の企画推進」+「インフラの学習」→発掘、「魅力創出」で「観光客増加」→活用と整理すれば良いと思います。例えば、「実施にあたっては、地域固有のインフラを観光資源として再評価し、地域と共同でツアー造成を進める。この新たな観光資源を活用することで、地域の魅力を高め観光客の誘致を促進していく。」といった具合に整理してはどうでしょうか。

(4) 訪日観光客の受入環境の整備
 インバウンドの消費動向は買、物、宿泊、飲食が主
 割を占め、目的達成のための交通費は1割を超え
 る。よって、観光事故、災害情報を伝えたデジタルサイ
 ネージや交通情報の多言語標記化²⁶を推進していく。ま
 た、公共空間におけるユニバーサルデザインによる公
 共サインの整備も併せて実施²⁸、訪日観光客の円滑な
 移動²⁹を実現させていく。

②⑥ デジタルサイネージや交通情報の並列に違和感があります。この2つは、質が違います（設備と情報の種類）。端的に、「サイン表示の多言語化」が良いと思います。また、交通情報に限定する必要があるのでしょうか。「多言語標記化」→「多言語表記化」。

②⑦ 公共空間に限定する必要はないと思います。

②⑧ 多言語表記化の推進と重複しています（ユニバーサルデザインは、誰でも使いやすくなるデザインであり、多言語化も含まれます）。

②⑨ 移動に限定する必要はないと思います。①⑦にも書きましたが、専門知識だけでなく、幅広い技術力の示唆が必要と考えます。

4. 波及効果と新たな懸念事項への対応策

波及効果：交通ロケ化等による生産性向上や、観光客と地元住民が共存し、まちづくりによるサステイナブルツーリズムの構築等の効果が生じる^①。また、インフラ整備の視点から、こころで、維持管理、利活用を取り組むことが、社会資本整備の理解を深化させる^②。

懸念事項への対応策：行政主導の取り組みには実施規模に限界がある^③。そのため、産官民との協働により混雑状況の可視化や分散入場等のルールを整備し^④、本来の姿を築く観光まちづくりを推進していく。以上

- ① 理解しづらい表現なので、分かりやすさを意識しましょう。また、まちづくりによるサステイナブルツーリズムとありますが、表現は異なるものの、大別すれば問われている問題そのものではありませんか。波及効果と言えるか疑義があります。
- ② 理解が深まるのは誰ですか。また、深化させた結果、どのような影響があるのか書かないと効果が分かりません。
- ③ これは、新たに生じる懸念事項ですか。そもそも内在している問題ではありませんか。
- ④ 規模を問題視しているのに、ルール整備が解決策なのですか。この解決策は、混雑緩和です。

※ 全体的に表現がまどろっこしいです。不要な修飾語が多く、重複も複数見られます。文章のダイエットを心がけると、飛躍的に分かりやすくなると思います。